

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	昼光シミュレーション小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)	主 査 名：鈴木 広隆 就任年月：2007 年 4 月
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	昼光は、建築空間へ与える心理的影響の大きさや省エネルギーの観点から、積極的に利用されるべきものであるが、そのためには精度の高い昼光シミュレーションを行う必要がある。同時に、精度の高い昼光シミュレーションの利用により、建築デザインに新たなきっかけを与えたり、昼光による積極的な空間演出も可能となる。本小委員会は、昼光シミュレーションに関わるこれまでの WG の活動を引継ぎ、開発されたシミュレーションツールの普及促進や、より実践的なシミュレーションツールの開発を目的として設置するものである。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 鈴木広隆(大阪市大)、松澤朋子(九州共立大)、吉澤望(関東学院大)、井川憲男(大阪市大)、上谷芳昭(京都大)、梅宮典子(関東学院大)、大井尚行(九州大)、古賀靖子(九州大)、大井尚行(九州大)、中村芳樹(東工大)、原直也(関西大)、三木保弘(国総研)、吉田真(鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	昼光シミュレーション開発・普及・評価 WG(講習会の実施と Web による昼光シミュレーションデータウェアハウスの構築) 昼光光源 WG(昼光に関する取得データの較正、及び統一フォーマットによるデータの整理、処理)	
2008 年度予算	54,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://graphics.arch.eng.osaka-cu.ac.jp/daylight/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)その他、適宜メールで審議
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 公開研究会「CG シミュレーションを用いた空間デザイン」参加者数 46 名 (資料名)「CG シミュレーションを用いた空間デザイン」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 講習会の実施 90% (公開研究会の実施となったため) 2. データウェアハウスの構築 80% (構築を行ったが研究成果の事例が少ないため) 3. 昼光に関する取得データの較正、及び統一フォーマットによるデータの整理、処理 80% (当初予定の 80% 程度の進捗)
委員会活動の問題点・課題	1. 公開研究会を大阪で行ったため、全国の会員に対する普及啓発とはならなかった。 2. 旅費の予算が中途半端(全員が一堂に会する金額に足りていない)であるため、非常に使いづらい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。